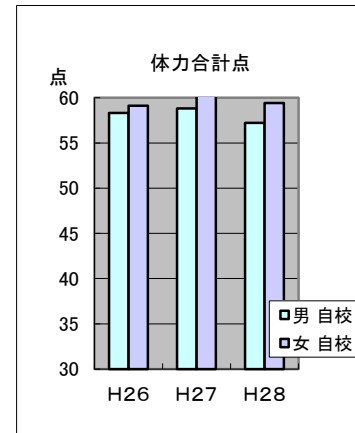
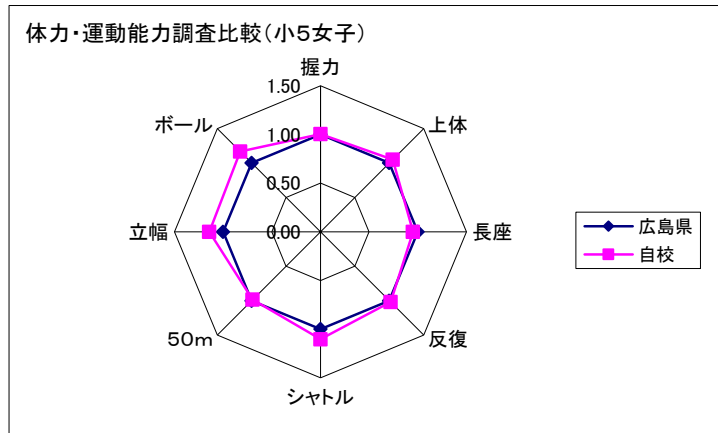
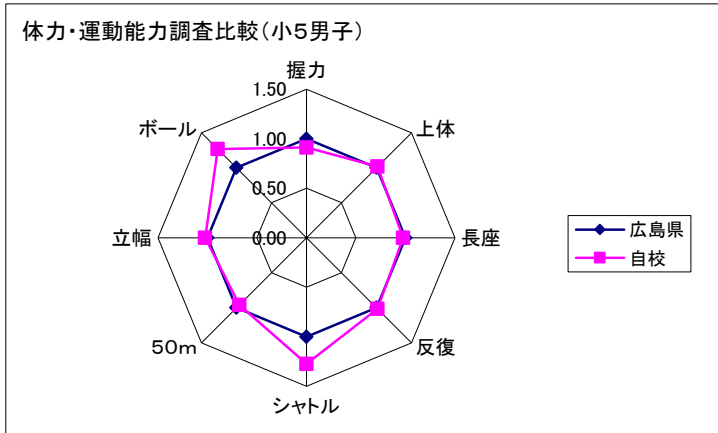


男子の体力合計点 学校 57.2 点 県平均 56.61

女子の体力合計点 学校 59.2 点 県平均 58.35



H28体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
 男子は、3つの学年で女子は4つの学年で全国と県の平均値を下回る結果となった。体育科の授業で20mダッシュ等の運動を取り入れたが、成果として表れていない。取組のさらなる徹底が必要だ。

②ソフトボール投げ(中学校区の課題種目)
 男子女子とも4つの学年で全国と県の平均値を上回る結果となった。体育科のゲームやボール運動の授業で、ウォーミングアップとして投の運動を継続して行ってきた成果が表れている。

③握力(自校の課題種目)
 男子は、5つの学年で女子は3つの学年で全国と県の平均値を下回る結果となった。体育科の授業で、雲梯や鉄棒、登り棒を使ったサーキット運動を取り入れたが、成果として表れていない。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走) 具体的な数値目標 (男子0.3秒, 女子0, 2秒)	具体的な取組内容 ・体育科の授業開始時に、毎時間5本程度の20mダッシュを徹底して取り組むとともに、児童の意欲を高めるために鬼ごっこ等のゲーム化した取組も行う。 ・運動委員会が中心となって、休憩時間等に全校鬼ごっこ等の50m走のタイム向上につながる遊びを企画する。 ・年間を通じて、業間運動で全校一斉に2分間走に取り組む。
②中学校区の課題種目 (ソフトボール投げ) 具体的な数値目標 (男子3m, 女子3m)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・引き続き、体育科のゲームやボール運動の授業のウォーミングアップで、投の運動に関わる運動を継続して行う。 ・スムーズな投球フォームができるよう、学年に応じた個別指導を行う。 ・児童会活動でドッジボール大会を行い、縦割り班ごとで大会にむけてロング昼休憩等で練習を行う。
③自校の課題種目 (握力) 具体的な数値目標 (男子2kg, 女子2kg)	具体的な取組内容 ・体育科の運動場での授業で、毎回サーキット運動の取組を徹底する。 ・業間運動で、週2回、グーパー運動と押し相撲に取り組む。 ・児童玄関に引き続き握力計を設置するとともに、上位記録者を掲示し、意欲をもたせる。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)